

デ イ ケ ア & デ イ サ ー ビ ス の 運 営 お 助 け B O O K

平成14年5月2日第3種郵便物認可
平成28年6月5日発行 第169号(毎月1回・5日発行)

月刊
monthly

DAY

[月刊 デイ]
<http://daybook.jp/>

VOL. 199

7 2016
月号

新企画&現場で役立つ
レク情報など満載!

〈特集〉

ケアマネ紹介率UP↑ ご利用者獲得の秘訣!

好評連載

認知症の方への
リハビリ・ケアの工夫

デイケア卒業に向けての工夫

「知っててよかった」医療知識と対応

別売 7月号
対応版

お役立ち
ツールCD

定価600円
(+税、送料別) 発売中

5 利用者数の安定・紹介率の増加につながる 『信頼される事業所』づくり

当社は利用者が、自分らしくいきいきと暮らしていけることを目指し、平成18年に『生活リハビリ』を重視した通所介護事業所を福岡県久留米市に開設し、現在、7事業所を運営。そして、事業所ごとに毎月3～7件の紹介を受けることができています。



有限会社いきいきリハビリケア
取締役事業部長

理学療法士

宮本 信

ディサービスの概要

(いきいき安武ディサービスセンター)

- 定員…42名/日
- 平均利用者数…34名
- 職員体制
- 平均介護度…1.9
- 理学療法士2名、看護師3名、介護職員12名
- ※他、ディサービスを6ヶ所運営

「利用者数の安定・増加」につながっている日々の取り組み紹介 ～“信頼を得る”ことが最良の手段～

紹介率を上げる取り組みの中で一番大切にしている点は、『信頼される事業所』づくりで、特にケアマネジャーとの関係において“信頼を得る”ことはご利用者を増やす最良の手段です。

これから紹介するのは、一人のケアマネジャーから複数のご利用者の紹介へつながり、また当社の口コミが増えることにより、新規居宅との連携

も増え、ご利用者の紹介率の増加・ご利用者数の安定につながった取り組みです。

ここでは、大きく「新規の事業所のケアマネジャーや初めてかかわるケアマネジャーに対する工夫」「日々かかわりがあるケアマネジャーに対する工夫」の2つに分け、信頼関係を築くためのポイントをお伝えします。



「介護事業所」のイメージ通りでない、サロン風の明るくおしゃれな雰囲気を重視したフロア



「リハビリ重視」のため、“ディサービス”でも機器を用意して“運動・リハビリがしやすい”と思っていただける環境

まずは知ってもらうための 資料づくり

● “資料”をそろえて説明

まずは、“知ってもらう”ことが何よりも大切なため、デイの考え方や設備、サービス内容、リハビリでの取り組み状況などをまとめた資料を作り、ケアマネジャーへの説明時に使用しています。

ここで大事にしていることは、「当社の強みである『生活リハビリ』（実際の生活場面を主とした動作の維持・改善のための「生活機能」や「生活環境」へのアプローチ）をいかに伝えるか」（右資料）です。

● ケアマネがご利用者に“説明しやすい”工夫

またケアマネジャーだけに理解していただく伝え方だけでなく、“ケアマネジャーからご利用者に説明しやすいこと”に重点を置いて、文章だけでなく写真を多く使い、イメージしやすさ、分かりやすさを意識（言葉の使い方も注意）しています。文章は長くなるとケアマネジャーも説明が難しくなることを考慮し、要点だけを伝えられるようにしています。

「リハビリの考え方」

「リハビリ重視」を特徴としていますが、当社のリハビリが“生活面を視点に進めていく”考え方であることを理解していただけるよう、写真などで簡潔に表記

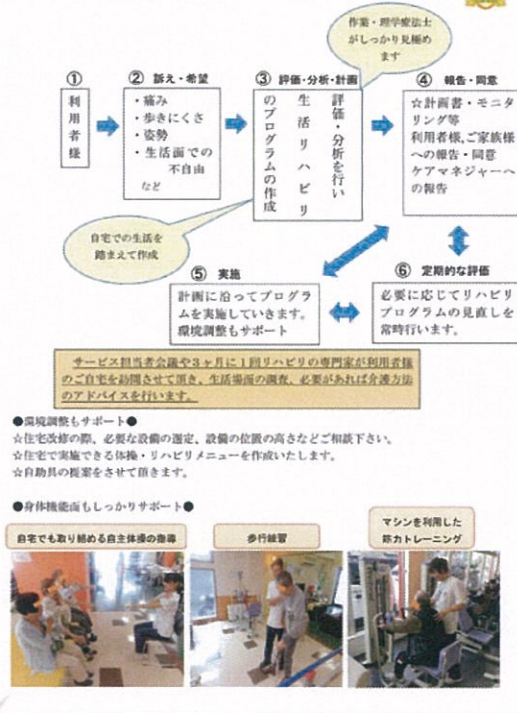
「入浴環境について」

「入浴環境」は、ケアマネジャー・ご利用者の関心が高く、特にケアマネジャーからは「安全に入浴できる環境の確認」の問い合わせが多いため資料を用いて説明。「車イスご利用レベル」であれば、重度の方でも対応できることも説明している

「楽しみ・役割作り」

当社がリハビリ重視型で「リハビリのみ」という印象を持たれやすいため、日常生活での楽しみを見つける・広げることや、役割作りの中での作業を通して、意欲・動機づけにつながる働きかけを伝えている

いきいき那珂デイサービスのリハビリの考え方



入浴環境（いきいき那珂デイサービスセンター）



浴室は2つあり、完全個室対応。入浴が気になる方なども安心できます。
一般浴と機械浴を利用者様の状態に合わせて、選択し実施します。重度な障害をお持ちの方でも専属のスタッフが対応しています

楽しみ・役割作り



当社で過ごされる時間は全て『生活リハビリ』として捉えています。デイの生活の中で、家の生活に結びつくようなADLアプローチ・集団体操・集団レクリエーション・季節行事など様々なリハビリの取り組みをスタッフだけでなく、全スタッフが同じ方向でプロ意識を高く持ち、取り組んでいます。

「リハビリ機器の紹介」

「リハビリ重視」を伝えるにあたり「イメージしやすい」工夫として、実際に機器を使っている写真を多く使用

リハビリ機器の紹介 いきいき郡岡デイサービスセンター
それぞれ利用者に必要なプログラムをリハビリスタッフが評価後に提案し実施して頂きます。

生活リハビリの様子

入浴できるため、車椅子への出入りの練習

もう一度お家で食事できるようにリハビリを実施しています。

両や両足からの立ち上がり方を想定した練習

「年間行事の様子」

年間を通して計画的に行事を行うことで、季節感を感じながら「生活リハビリ」に取り組めるようにしている

年間行事の様子 いきいき郡岡デイサービスセンター
～四季折々の楽しんで頂く行事を提供～

1月のお正月

2月の節分

3月のひな祭り

4月の花見

5月の端午の節句

6月の買い物ツアー

7月の七夕

8月の夏祭り

9月の感謝祭

10月のバスハイク

11月の文化祭

12月のクリスマス

“雰囲気を知ってもらう” 見学の機会をつくる

「実際に見ていただくほど“事業所の雰囲気を知っていただく”効果を得られるものはない」と考えています。事業所見学は、日々のかかわりを知っていただくよい機会となります。

見学のポイント

- 当社の強みであるリハの状況
- 接遇面を踏まえたスタッフの動き
- 利用している他ご利用者の表情

時期に応じた見学の種類

新規オープン時	内覧会
新規オープン～半年（まだご利用者が少ない状況で「知ってもらう」ことが大切な時期）	体験見学会を開き、当社の取り組みの説明と、リハビリ体験や実際の食事の試食会を実施。月に1～2回実施し、参加者は2～8名
半年以降（日々）	見学希望があれば実施（月2件程度）。新設のところやまだつながりのない事業所への日々の営業では、前述の資料を通して取り組みを案内し、見学につなげるための勧誘を行っている

見学時に見ていただいている「リハ状況」



“自助具に頼らずペットボトルのキャップを開けたい”という希望に応えて訓練用具作成・練習



長年スプーン・フォークを使用していた方が“昔のように外食先で箸を使いたい”という希望に応えてさまざまな形状・固さ（毛糸・キャップ・ビー玉・おはじき・カード等）の物を使って練習



リハビリに取り組まれている全体像（筋力強化・バランス訓練・ADL 訓練など）



買い物の機能訓練（実際の場面を想定し、買い物かごに1kgの重りと上着を入れて杖歩行）

『日々のかかわりがあるケアマネジャー』に対する工夫

お休みや体調変化など細やかな「ホウレンソウ」が信用・信頼につながる

ご利用者に関して、細かなことでも電話で連絡します。休みや身体的な変化、苦情やトラブルなど日々の中でしっかり伝えることにより、『報告・連絡・相談をしっかり行える事業所』としての印象付けができ信用・信頼につながると考えています。

「細かなこと」でも連絡

- 身体変化はもちろんのこと、ご利用者同士のトラブルや精神的に落ち込んでおられた場合、送迎の際のご家族の様子のことなど、ご利用者にかかわることを小まめに連絡
- 身体的変化があるときは、理学療法士、作業療法士による運動機能の評価を改めて行い、その情報を踏まえて連絡を行っている



この書面を受け取ったケアマネの声

改修の助言はありがたく思っている。専門的な知識を取り入れご利用者にアドバイスすることができている。また、頼みやすく相談しやすいところも助かっている

リハビリスタッフが“根拠を持って” アドバイス・相談に応じる

リハビリスタッフによるアドバイスや相談に応じる際は、“根拠を持って”伝えています。当社はリハビリ重視型ということもあり、ケアマネジャーからリハビリに関して下記のような質問も多くあります。今後の方針も本人を踏まえて一緒に考えていくなど、ケアマネジャーとの連携を大切にしたかわりを行っています。

ケアマネジャーからよくある質問内容

- 運動機能について
- 生活環境について
- ご家族への介護指導法
- ご利用者の今後に向けての方針

ご利用者の「生活環境」についての質問には、理学療法士もしくは作業療法士が自宅訪問し、「住宅改修アドバイス」として書面で報告している。

〇〇 〇〇様 住宅改修(案)

①玄關



玄関のより幅が25cmであり、ご本様が一人で歩行にて上がることが困難であるため、段差解消のために10cmの段差設置し、手すり把持にて介助なく上がることができるようにする。



手すり下部：玄関床面から85cm。

◀玄關段差の上り方▶
 手すり把持にて左下腿→右下腿の順に段差を上る。
 ◀玄關段差の降り方▶
 手すり把持にて横歩きにて右下腿から段差を下る。

②浴室



浴室入口の手すり設置

浴室入口の段差(15cm)昇降のための手すり。

＜手すりの高さ＞
手すり上部：浴室内タイルから85cm
手すり下部：脱衣所床から、ご本人様の肩の高さ

手すりは「オフセットタイプ」を設置することで、浴室内部の手すり設置なく浴室外からも使用



『浴槽手すり』を浴槽中心部より入口側に設置する。

1. 字手すりを浴室左側の壁に設置する。

し字手すりの上部はご本人の肩の高さ以上に
する。



＜浴槽への入り方＞
浴槽への出入りはシャワーチェアに座った状態で

実施。まず、湯槽に右下肢を入れ、湯槽側に体の向きを変えて左下肢を湯槽内に入れる。右上肢にてしずまりを把持し立ち上がり、そこから体の向きを変え、入

● 環境と健康 ●

右大腿にてしずみずりを保持し、シャワーチェア側は肩体の向きを定める。シャワーチェアに座り足を下から浴室側に出し、右下肢も浴室側に出す。

油櫃手すりを把持し立ち上がり、脱衣所の手すりにも替えて油蓋を出す。

洗面台の横に横手すりを設置。
廊下から洗面台までの移動時に使用。

③廊下～トイレ



自室から浴室、トイレまでの廊下には、手すり把持での歩行用に横手すりを設置する。

手すり把持での移動の際は、横歩きにて歩行を行うことで行き、帰りともに手すり把持での歩行移動が可能となる。

以上簡単ではありますが、住宅改修の案を提示させていただきます。
ご不明な点がございましたら、いつでもご連絡ください。

いきいき野中デイサービスセンター 作業療法士 ●● ●●

できるところは数値化し、客観的に示す努力をしている

短時間型ディにおいては動作解析ソフト（ダートフィッシュ）を使用し、立ち上がり動作や方向動作を分析し、「動作分析シート」にて運動の効果を示している

筋力測定評価器（マイクロFET2）を使用し、三角筋、上腕二頭筋、腸腰筋、大腿四頭筋の筋力測定を3ヶ月に1回実施

認知機能評価として、改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を新規受け入れ時に実施し、経過の中で気になる報告が家庭生活やデイ利用時に見られたとき、その変化が分かるようにしている

フリガナ 氏名		要介護度		管理者		看護		介護		相談員		機能訓練			
		要介護2	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護1		
計画期間	平成26年5月1日～平成26年7月31日				評価実施日		平成26年4月1日		作成日		平成26年4月5日				
性別	女		健康状態/リスク		本人の希望		家族の希望								
生年月日	昭和40年9月9日		療養介護施設開設 向島高		ディサービスに行きながら、少しづつ一人でできる事が増え、手に平手ぐさしで洗濯ができることになった。この平手ぐさしを使って洗濯するのと糸の縫い合わせが家事が出来るようになった。										
年齢	65 歳														
生活課題	肩の痛みや可動域制限があり自宅での家事動作や要介護動作などの自立の活動も大変で、夫の負担が増すことなど家事動作が続けられることが望まれる。また家事動作実施中の立位の耐久性向上が必要。														
実施目標 (3ヵ月)	自宅内は平手すりや家具低くして移動、屋外・施設内の散歩は1時間2本杖を使用することもあり。														
【個別機能訓練加算1】												目標達成度			
長期目標 (3ヵ月)	立位耐久性の向上												未達成		
短期目標 (1ヵ月)	肩痛緩和（両肩、両側） 両肩関節可動域の向上 筋力向上												未達成		
実施プログラム内容（1回通所利用あたりの頻度・時間）														プログラム立案・実施担当者	
①運動機能訓練 □ 足首の機能訓練 □ エムゴマー+50回 □ レッグプレス+30回 □ ローイング+30回 □ スチーパー+5分 □ 体操+15分 □ フリー+10分 □ セラパン+15分 □ 傾斜台+5分 □ 直昇階段+10分 ②物理療法 □ ホットスプレー+10分 □ MFM+10分 □ 平手渡り+10分 □ アクアライザー+15分															
身長(m) (右)	右	左	両膝間	右	左	握力(kg) 右	6.3								
三角筋	5.4	5.4		5.9	5.4	握力(kg) 左	6.8								
上腕二頭筋	4.7 (左)	5.7	大腿四頭筋	5.1	9.3	体重(kg)	59								
【個別機能訓練加算2】												目標達成度			
長期目標 (3ヵ月)	右肩が少しづつ重なり、手に力が入るようになり、家事動作が行えるようになる。														
短期目標 (1ヵ月)	起き上がり動作や立ち上がり動作がスムーズに行えるようになる。 劇的な劇が起きること、自分でやることが増えるよう。														
実施プログラム内容（～の為に～する）1回通所あたり														プログラム立案・実施担当者	
1	目的	息遣いや、食後の移動が滞らずに出来る		実施内容	上肢・手指体操練習 AOL訓練		実施時間	15分							
2	目的	調理中に立位が安定で取れる		実施内容	立位（保持練習・平行棒・ステップ・バンス）		実施時間	10分							
3	目的	屋内・外で状況作りが制約なく出来る		実施内容	移動訓練		実施時間	10分							
4	目的			実施内容			実施時間	10分							
【コメント】															
肩の痛みの痛みにより、自宅での家事動作や生活動作に支障となっていました。立位が安定してとれ、上肢の操作が痛みの悪化なく出来るように動作訓練を行っています。家事動作への参加が続けられるように動作の見直しをしながら実施しています。															
例： 年 月 日															
本人・代理人への説明、平成 年 月 日															
(有)いけふりりびりタカ いけふりりタカ ディサービスセンター															

筋力測定評価器にて三角筋・上腕筋二頭筋・胸腰筋・大腿四頭筋を3ヶ月に1回測定し、計画書に記載。「在宅生活でつまづく」といった言葉を聞いた際は、原因分析のための指標の一つとして数値を見ている

1. 立ち上がり動作 4月	2. 歩行動作(前から) 4月 7月 ○右足に重心移動 ○左足に重心移動 コメント 左右への重心の移動も大きなぶれはなくバランスは保たれています。下肢の引き上げもつま先が床面に届くこともみられていません。
7月 コメント 椅子の座面から臀部が上がる直前に軌道のブレが認められ、下肢の筋力特に大腿部の筋力低下が認められます。杖や手すりなど支持する物がある状態では安全に立ち上がりは出来ますが、転倒やふつきなくできるよう今後も下肢を中心とした筋力向上訓練は継続していきましょう。生活上で特に立ち上がり動作とその前後はふつきがみられるので、ご自宅の方でも十分に注意して頂ければと思います。	3. 歩行動作(横から) 4月 7月 コメント 腕の振りや、つま先の引き上げの角度も保たれています。腕の振りも大きくなり、歩幅もやや改善されている所から、下肢筋力の低下がある中でも若干の歩容の改善がみられると思います。今後もハビリと家での自主トレーニングを継続していきましょう。

「立ち上がり」と「歩行」動作の重心移動の軌跡と、横から見た「歩行」動作の上肢の振り、歩幅、足の背屈角度を数値に表し、その「変化」に問題がないか分析し説明

実績報告は月初めの決まった日、センター長が持参し 文章・口頭で意見交換 ～一人ひとりと「関係」を深める～

実績の報告は月初めの決まった日に、事業所のセンター長が報告書を持っていき、文章と口頭で意見交換を行っています。また、提供票の実績に加え、計画に対するモニタリング、更新の場合は計画書、動作分析シート（前ページで紹介）を提出し、併せてセンター長より口頭で説明を行っています。

報告書は担当のケアマネジャーごとにホッチキスで綴じ、口頭で報告しやすいようにまとめておくことで、要点をまとめた内容を短時間でスムーズに説明できるため（事業所ごとにクリアファイルに入れ、書面はケアマネジャーごとにホッチキスで綴じている）、一人ひとりのケアマネジャーと関係を深めていく機会となっています。

計画に対するモニタリング

① 痛みや筋力など運動機能の変化、
動作や動作に対しての介助量、
生活面の変化を表記

② 目標に対する「達成度」を説明

③ ご本人の「満足度」も表記

個別機能訓練加算 経過報告書		利用者：〇〇〇〇 様 居宅介護事業所：.....		
	平成27年12/29	平成28年1/30	平成28年2/25	
個別機能訓練加算Ⅰ	経過 【コメント】 上下肢ともに著変はなく、動作性も大きな変化はなく経過しています。立位姿勢も下腿筋力の不足からやや不安定ではあるため、筋力・隨意性向上をはかっているように思います。	経過/評価 【コメント】 右側の痛みは減少してきており、可動域、筋力共に維持、向上されています。立位も60秒程度は必要ですが、膝折れも見られていません。	経過/評価 【本人】 右側はやっぱり痛みます。用心して動かしています。	経過/評価 【本人】 右側はやっぱり痛みます。用心して動かしています。
目標 ①右上下肢の筋力向上 ②立位の安定化	総合評価 ☐ 未達成 ☒ 達成 ☐ 変更達成 ☒ 継続 ☐ 目標変更 本人満足度 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☒ どちらとも言えない ☐ やや不満 ☐ 聴取不可	総合評価 ☐ 未達成 ☒ 達成 ☐ 変更達成 ☒ 継続 ☐ 目標変更 本人満足度 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☒ どちらとも言えない ☐ やや不満 ☐ 聴取不可	総合評価 ☐ 未達成 ☒ 達成 ☐ 変更達成 ☒ 継続 ☐ 目標変更 本人満足度 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☒ どちらとも言えない ☐ やや不満 ☐ 聴取不可	
個別機能訓練加算Ⅱ	経過 【コメント】 動作性は変化を認めませんが、手の届きそうな範囲であれば一人で移動できるようとされるため注意が必要です。リスク面の説明もしっかり行いながら安定した動作が獲得できるよう継続していきます。	経過/評価 【コメント】 移動は安定して行うことができています。平行棒内での歩行は下腿の揺れに注意しながら実施はしています。下腿の痛みもないため、立位の持久性向上を図り、立位が安定して行えるようにしていきたいと思っています。	経過/評価 【本人】 動きには変わりはありません。転んだりもしません。	経過/評価 【本人】 動きには変わりはありません。転んだりもしません。
目標 ①移動・移動動作の安定（入浴・トイレ動作の安定） ②安全な車椅子移動ができる。	総合評価 ☐ 未達成 ☒ 達成 ☐ 変更達成 ☒ 継続 ☐ 目標変更 本人満足度 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☒ どちらとも言えない ☐ やや不満 ☐ 聴取不可	総合評価 ☐ 未達成 ☒ 達成 ☐ 変更達成 ☒ 継続 ☐ 目標変更 本人満足度 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☒ どちらとも言えない ☐ やや不満 ☐ 聴取不可	総合評価 ☐ 未達成 ☒ 達成 ☐ 変更達成 ☒ 継続 ☐ 目標変更 本人満足度 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☒ どちらとも言えない ☐ やや不満 ☐ 聴取不可	

上記②と同様

上記③と同様

介護予防 モニタリングシート		報告日：H28年3月28日		利用者名：〇〇〇〇 様 居宅介護支援事業所：.....	
目標	評価項目	達成度	判断方法	満足度	総合評価
①運動する機会をもち下腿筋力低下の予防を自主トレーニングの指導を受ける。	左膝はすっと痛い。かもしわらん。1週間ぐらい前につまづいて腰を痛つけた。	☐ 100% ☒ 80% ☐ 60% ☐ 25% ☐ 未実施	☒ 本人 ☐ 家族 ☐ 職員 ☐ スタッフ ☐ 看護/介護 ☐ PT/OT ☐ その他	本人 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☐ どちらとも言えない ☐ やや不満 家族 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☐ どちらとも言えない ☐ やや不満 職員 ☒ 満足 ☐ まあまあ満足 ☐ どちらとも言えない ☐ やや不満	☐ 改善された ☒ 維持 ☐ 悪化 ☐ その他/コメント 今月はお休み無くご利用されています。腰の状態は悪化なく経過していますが、腰内での転倒が認められているようです。大事には至らなかったようですが、今後大きなけがに繋がることが考えられるため、リハビリを継続し、立位バランス能力の改善を実施していければと考えております。
②外出する機会を作り、他者と交流することで刺激を受けメリハリのある在宅生活にする。	外にはたまに主人の買い物についていくだけ。プランターの花は手入れはしている。	☐ 100% ☒ 80% ☐ 60% ☐ 25% ☐ 未実施	☒ 本人 ☐ 家族 ☐ 職員 ☐ スタッフ ☐ 看護/介護 ☐ PT/OT ☐ その他		上記①と同様
備考					

いきいき介護サービスセンター

記載者：〇〇

